

計 画 作 成 年 度	令 和 8 年 度
計 画 主 体	初 山 別 村

鳥獣被害防止総合対策事業 クマ特別対策事業における捕獲計画

〈 連 絡 先 〉

担 当 部 署 名 経 済 課 農 林 畜 産 係
 所 在 地 苫 前 郡 初 山 別 村 字 初 山 別 96-1
 電 話 番 号 0 1 6 4 - 6 7 - 2 2 1 1
 F A X 番 号 0 1 6 4 - 6 7 - 2 2 9 8
 メ ー ル ア ド レ ス keizai.nourin@vill.shosanbetsu.lg.jp

1. 目的

初山別村では緊急捕獲活動支援事業により、ヒグマの捕獲を実施しているところである。
ヒグマによる農作物被害等は、令和3年以降、拡大している状況にある。

このため、本事業により生息が確認されている初山別村全域においてヒグマの集中捕獲を実施し、個体数調整を図ることを目的とする。

2. 目標

(1) 推進方針

初山別村全域を捕獲区域として設定し、ヒグマの集中捕獲を実施する。

(2) 目標捕獲頭数

25頭（交付決定された頭数）

3. 事業実施体制に係る項目

(1) 構成市町村、構成機関と役割分担

範囲	構成機関	役割分担
初山別村	初山別村役場	村実施事業の総括、捕獲確認、支払い
	北海道猟友会羽幌支部 初山別部会	捕獲

(2) 学識経験者等第三者との協議や意見聴取の機会の設定

①捕獲計画の作成段階

学識経験者等第三者である中山間地域等直接支払事業初山別集落代表から、計画案について助言を得る。

②ヒグマの集中捕獲の実施・推進段階

学識経験者等第三者である中山間地域等直接支払事業初山別集落代表から、捕獲の状況を踏まえ、ヒグマゾーニング計画をもとに、さらなる事業の推進に向けた対応方策や捕獲計画の変更に向けて助言を得る。

③捕獲計画（捕獲目標等）に対する事業成果（捕獲効率含む）の評価段階

学識経験者等第三者である中山間地域等直接支払事業初山別集落代表から、事業の評価に当たって、成果について捕獲効率の観点からの評価手法及び評価結果について意見聴取する。

4. 事業の対象地域内の市町村における被害防止計画の作成状況

令和7年度から令和9年度を計画期間とする初山別村鳥獣被害防止計画を、令和6年度に作成した。

5. 生息状況調査等の結果に係る項目（生息状況、生息数、捕獲状況、被害状況等）

(1) 生息状況

生息数は不明であるが近年の捕獲数及び捕獲実績から推測すると初山別村全域に生息している。

(2) 捕獲状況

令和2年度から令和6年度の捕獲頭数について、下表に示す。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
捕獲頭数	7	6	7	5	9	20	25	79

(3) 被害状況

令和4年度から令和7年度の被害状況について、下表に示す。

	R4	R5	R6	R7
被害額(千円)	2,148	1,739	1,864	1,820
被害面積(ha)	1.6	1.5	1.3	1.3

6. 捕獲の地域対象

初山別村全域

7. ヒグマの集中捕獲の内容

(1) 捕獲体制（捕獲者）

捕獲者は、北海道猟友会羽幌支部初山別部会に所属している者とする。

(2) 目標捕獲頭数等に係る内容

初山別村全域において25頭（交付決定された頭数）

(3) 捕獲方法

銃器、箱わなによる。

(4) 捕獲期間

令和8年7月13日～令和9年3月31日とする。

また、目標捕獲頭数に達した場合は、本事業による捕獲は終了する。

(5) 捕獲に要する経費

ヒグマ1頭あたり39,000円を交付する。なお、令和8年度においては、25頭を上限とする。

(6) 捕獲個体の確認方法や捕獲個体処理に関する取り決め

捕獲個体の確認方法については、現地確認とする。

捕獲個体処理については、捕獲者による埋却もしくは、羽幌町外2町村衛生施設組合への搬入を基本とする。

(7) 捕獲目標に対する事業成果（捕獲効率含む）の評価方法の設定

事業成果については、設定して目標の達成率が70%未満の場合は、達成状況が低調であるものとする。また、捕獲効率は、任意の指標となる項目（日数当たり、金額当たり等）での効率化が図られているか、類似の取組事例（近隣で実施されている緊急捕獲事業や指定鳥獣捕獲等事業）と比較して評価する。

8. 生息環境管理の内容

別添「初山別村ヒグマゾーニング計画」のとおり

9. クマの日当払い及び頭数払いの単位当たりの単価とその財源

日当払い：20,000円/日（うち村費：20,000円）

頭数払い：39,000円/頭（うち国費：39,000円）